

# クマガイソウ

*Cypripedium japonicum*

ラン科

カテゴリー

大分県 IA

環境庁 II

種  
子  
植  
物



丘陵地や低山地の林内に生える多年草。茎は高さ20～40cm。葉は1枚の扇形で径10～15cm、放射状の葉脈が顕著である。4～5月、茎の頂に1個の大型の花をつけ、袋状の唇弁には紅紫色の網状の脈があって目立つ。かつて生育地は多くあったが、植林地となったり、人に採取されたりして、すでに消滅した所が多く、絶滅の危険性が極めて高い。

(写真：中原洋子 文：小田 毅)

**県内分布** 耶馬溪・国東丘陵地、英彦山・犬ヶ岳山地、日田低地・丘陵地、玖珠丘陵地・山地、九重火山群、由布・鶴見火山群、別府湾沿岸域、大分川・大野川丘陵地、豊後水道後背地域、大野川上流域

**分布域** 北海道（渡島）、本州、四国、九州（福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島）  
中国

**国立・国定公園指定植物** [阿蘇くじゅう、祖母傾]